

## 成年後見制度利用促進に向けて ～成年後見制度利用促進研修会を開催～

「成年後見制度利用促進研修会」を11月8日(金)、熊本市火の君文化センターで開催し、市町村社協及び行政をはじめ、地域包括支援センター、高齢や障がい者施設の職員など342名の参加がありました。

研修では、当該制度を管轄する家庭裁判所と関係機関である行政及び社協の立場から、それぞれの役割や連携のあり方について説明していただきました。

熊本家庭裁判所からは「成年後見申立手続の概要と関係機関との連携のあり方」と題して、申立手続の概要や成年後見関係事件の概況、関係機関との連携等について【研修会場の様子】講義がありました。また、岸和田市役所の庄司彰義氏からは「成年後見制度の利用促進に向けた市町村の取組と関係機関との連携のあり方」と題して、利用に向けた体制づくりといった具体的な取り組み方等について説明があり、八幡浜市社協の田中奈美氏からは「成年後見制度利用促進に向けた社協の取組と関係機関との連携のあり方」と題して、権利擁護から成年後見への移行の取組みや法人後見受託の取組み等を発表していただきました。最後は、総括として日本福祉大学学園事業顧問の柿本誠氏をコーディネーターに、制度の必要性や現状等について討議を行いました。社協及び行政をはじめ関係機関・団体の協働により、制度が普及していくことが期待されます。



## 生活困窮者自立促進支援モデル事業の取組みに向けて～実施社協連絡会議を開催～

11月6日(水)、県総合福祉センターで「生活困窮者自立促進支援モデル事業実施社協連絡会議」を開催し、事業を実施する市町村社協及び熊本県、熊本市の担当職員23名が出席しました。

会議では、はじめに、本会県民福祉課長から先の国会で廃案となった「生活困窮者自立支援法案」が今国会で審議中であること、全国各地の社協を中心としてモデル事業が取り組まれていること、事業の実施には、これまで社協が取り組んできた「総合相談事業」や「小地域のネットワーク活動」を活用することが重要であり、今後より一層、関係機関・団体との連携を図り、組織としての支援体制を強化することが必要であることについて説明しました。

続いて、県社会福祉課からモデル事業実施上の留意点と具体的な事務処理・書類提出の方法、ハローワークが行う「生活保護受給者等就労自立促進事業」との連携について説明があり、規程の整備や会計処理の方法などの事務手続きや平成26年度のモデル事業の実施について質疑応答を行いました。

その後、各社協から事業の実施体制と相談支援員の研修や事業の周知、関係機関・団体との連携状況などについて報告と情報交換を行いました。

平成25年度モデル事業実施社協
熊本市社協、八代市社協、天草市社協
玉東町社協・和水町社協・南関町社協・長洲町社協共同体

## 福祉サービス苦情解決事業「第三者委員」研修会を開催



福祉サービスにおける第三者委員の活性化を通して、利用者とサービス提供者の風通しの良い関係づくりをめざして、11月25日(金)にKKRホテル熊本で福祉サービス苦情解決事業「第三者委員」研修会を開催しました。8回目を迎えた本年度は、県内の福祉サービス事業所から第三者委員を中心に245名の参加がありました。

### 【研修会の様子】

まず、熊本県福祉サービス運営適正化委員会 田尻委員長による開会挨拶の後、福祉施設での「第三者委員の活動について」の報告が2つの事業所からありました。その後、高齢・児童・障害の3つの種別で編成した22グループに分かれ①苦情解決に第三者委員を積極的に活用する方策について②第三者委員の役割に十分対応するためには、の2つの論点について熱意ある討議が進められました。参加者から「グループディスカッションで積極的な意見を聞くことができた」、「第三者委員としての役割を認識できた」等の声が寄せられました。

## 平成25年度九州授産施設(セルプ)研究大会を開催

11月6日(水)と7日(木)の両日、熊本全日空ホテルニュースカイで「平成25年度九州授産施設(セルプ)研究大会」が開催され、九州各県の障がい福祉サービス事業所より420名の参加がありました。

「新法を受けて事業所はどう実践するか」をテーマに、1日目は、開会式典、基調報告や行政説明、午後より4つのテーマに基づき研究部会があり、意見発表やグループワークなど熱心な研究・討議が行われました。

また、2日目の記念講演では、「共に生きる時代をめざして」と題し、日本社会事業大学 理事長 潮谷義子氏から新たな制度における課題や福祉の動向についてお話があり、参加者は熱心に聞き入っていました。



【良永会長の主催者挨拶の様子】

## 福祉の就職総合フェア2013及び福祉のお仕事就職面接会2013を開催



【福祉の就職総合フェアの様子】

11月12日(火)、熊本全日空ホテルニュースカイで「福祉の就職総合フェア2013」を開催しました。合同選考会では、来年3月卒業予定者及び一般求職者(計90名)が56の求人事業所との面接に臨みました。

また、福祉・介護人材マッチング支援事業の一環として、「福祉のお仕事就職面接会2013」を県内7ヵ所の地域(下表参照)にてハローワークの「介護就職デイ」と同時開催しました。

11月開催日	7日(木)	8日(金)	11日(月)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
開催地	阿蘇	天草	八代/水俣	玉名	球磨	宇城 菊池
参加事業所	8	9	22	23	11	10 6
求職者	27	29	30	25	16	37 13

## 保育士再就職支援コーディネーター事業の取り組み



10月から11月にかけて、熊本県・熊本県保育協会及び熊本市・熊本市保育園連盟主催の「保育士再就職支援研修会」が、菊陽町、玉名市、嘉島町、熊本市、八代市、人吉市、天草市で開催されました。福祉・人材研修センターも相談コーナーを開設して、参加者や事業所へのコーディネートを行いました。保育士経験が全くない、ブランクが長い、保育士資格を取得したが自信がない等という不安を抱えたり、短時間でしか働けない方など様々な課題や悩みを持った方々の相談に応じました。

本年7月から始動した本事業は、保育団体、保育担当行政、労働局、ハローワーク等と連携して進めています。



【保育士再就職支援研修会の様子】

## 法人後見事務に必要な基礎知識と技術を学ぶ ～法人後見従事者養成研修会を開催～

市町村社協の職員を対象とする「法人後見従事者養成研修会」が11月21日(木)から県総合福祉センターで始まりました。昨年度は4日間のプログラムでしたが、アンケート結果から「基礎的な部分からマスターしたい」との意見を反映し、今年度は初日に基礎編を取り入れ、延べ5日間のプログラムで開催することになりました。

現在17市町村社協の職員25名が受講中です。講義では、成年後見制度の概要をはじめ、市町村社協が法人として成年後見人を受任し、後見事務を行っていくうえで必要となる基礎知識と技術を学んでいきます。

講師は、家庭裁判所、精神科医、弁護士、司法書士、社会福祉士、学識経験者となっており、現在後見事務を行っている社協職員からの講義・意見交換も予定しています。



【法人後見従事者養成研修会の様子】



# 各課トピックス

\* お問い合わせは、県社協各課まで

総務課	県民福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p>◆今冬における節電へのご協力をお願い◆</p> <p>国、九州電力株式会社から平成25年12月2日(月)～平成26年3月31日(月) [年末年始12月30日(月)～1月3日(金)を除く]の平日8時～21時に、生活・健康や経済活動に支障のない範囲での節電の要請があつています。体調には十分に配慮いただき、無理のない範囲で節電へのご協力をお願いします。詳細は九州電力ホームページをご覧ください。</p> <p>URL <a href="http://www.kyuden.co.jp">http://www.kyuden.co.jp</a></p>	<p>◆民生委員児童委員大学講座のご案内◆</p> <p>熊本県民生委員児童委員協議会と県社協の共催で、次のとおり開催します。</p> <p>期 日 平成26年1月29日(水)～1月31日(金)</p> <p>場 所 県総合福祉センター5階 研修ホール</p> <p>対 象 新任法定単位民児協会長</p> <p>内 容 民生委員・児童委員が推進する地域福祉活動等に必要知識を習得するための16講義と、150分の研究協議(グループ協議・全体協議)</p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-324-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p>◆第56回熊本県保育研究大会開催のお知らせ◆</p> <p>県内の保育関係者が一堂に会する標記大会を、次のとおり開催します。</p> <p>日 時 平成26年2月7日(金) 10:00開会</p> <p>場 所 荒尾総合文化センター及びホテル ヴェルデ</p> <p>内 容 記念講演、式典、分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師：筑紫女学園大学 教授 牧野 桂一 氏</li> <li>・演題：保育現場における危機管理と保護者支援のあり方</li> </ul>	<p>◆民生委員の一斉改選に伴う生活福祉資金パンフレットのご活用について◆</p> <p>今回の民生委員の一斉改選により、多くの民生委員が交代されておりますが、生活福祉資金貸付事業には民生委員からのご協力が必要不可欠です。</p> <p>つきましては、支援が適切に引継がれるため、「生活福祉資金貸付事業を活用した住民支援」等のパンフレットを送付しましたので、ご活用ください。</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-324-5456
<p>◆平成25年度熊本県介護支援専門員実務研修受講試験合格発表及び実務研修について◆</p> <p>10月13日(日)に実施した標記試験の合格者受験番号を12月10日(火)午前10時から、熊本県総合福祉センター1階ロビー、県庁、県地域振興局等にて掲示します。併せて、本会ホームページにも10時過ぎに掲載する予定です。</p> <p>なお、試験合格者は、1月9日(木)から実施する「実務研修」を修了のうえ、県に登録を行い、介護支援専門員として実働できることとなります。</p>	<p>◆契約締結審査会について◆</p> <p>今年度より、契約締結審査会の開催日が偶数月第3火曜日の開催となりました。ただし、急を要する案件(例えば、利用契約の締結及び契約の見直しの際に、利用希望者の判断能力に疑義がある場合、その契約締結能力について、専門的な見地から審査しなければならないようなケース)に関しては、文書審議にて対応していきたいと思っておりますので、その際はお早めに御連絡ください。</p> <p>なお、次回の審査会開催日は12月17日(火)です。</p>
ボランティアセンター	ご案内
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	
<p>◆くまモン・ネック・ストラップ好評販売中!!◆</p> <p>「ボランティア活動日本一運動」の一環として、「火の国ボランティアの星®」と「くまモン」をデザインしたネック・ストラップを1本1,000円(消費税・送料込み)で販売しています。購入希望の方は、本会ボランティアセンターにお電話ください。</p>  <p>【IDカードフォルダ付き】</p>	<p>◆「社会福祉手帳2014年版」頒布について◆</p> <p>価 格 1冊 600円</p> <p>送 料 4冊以下注文の場合は300円 5冊以上注文の場合は無料</p> <p>資料篇 社会福祉法等の法令、県関係機関、県内外の社協、県内の施設・団体等の名簿、市町村別人口等一覧など豊富な資料を掲載しています。</p> <p>※申込書は本会ホームページからダウンロード出来ます。</p>  <p>【2014年版】</p>